

	スミス(1938～2017)	エリアーデ(1907～1986)	シカゴ宗教学	その他
	1938 ニューヨーク州ブルックリンでユダヤ人の家に生まれる	1928 インド留学、ダスグプタとの絶縁を経て 31 年にルーマニアに帰国 1935 『アジアの錬金術』(最初の学術的著作) 1936 『ヨーガーインド神秘学起源論』(博論の仏訳) 1937 『バビロニアの宇宙論と錬金術』 1940 ロンドンで啓示(形態学と宗教史の総合) 1940～オックスフォードで『宗教学概論 ( <i>Traité d'histoire des religions/ Patterns in Comparative Religion</i> 原タイトル案は「比較宗教史序論」「聖の形態学」)』執筆開始	1919-1945 アルバート・ヘイドン History of Religions (HR)教授 経験的な HR (⇨発展史・本質論的な Comparative Religion)  1924 ワッハ (1898-1955)、『宗教学』刊行 1935 ワッハ、渡米し、ブラウン大学教授に就任	19C 末～20C 初 汎バビロニア学派 (円環的時間論) 1934 アドルフ・E・イェンセン <i>Hainuwele</i>
1940年代	博物誌(植物学)への関心 →非暴力・自然保護(東洋宗教) + 分類学  歴史・哲学への関心 NY ウェストサイドの前衛的な知的・政治的環境	1941 在ポルトガルのルーマニア大使館に文化参事官として勤務 1942 『再統合の神話』 1943 『棟梁マノーレ伝説の注解』 1945 パリに到着 デュメジルに招かれ、フランス国立高等研究院で講義開始 1949 『宗教学概論』『永遠回帰の神話』	1944 ワッハ『宗教社会学』刊行 1945 ワッハ、シカゴ大学教授に就任 この頃キタガワ(1915-1992)がシカゴ大学の学生になり、ワッハに師事 1949 ロング、シカゴ大学神学部学生に	
1950		クリスティネルと再婚 エラノス会議に参加 IAHR アムステルダム大会参加	HR の学生の多くはキリスト教志向 赤司道雄 Divinity School(DS)に留学 52 年まで	
1951	カッシーラー「現代言語学における構造主義」(1945)から影響 →生物学の形態学や言語学の構造主義	『シャーマニズム』刊行	この頃、平井直房 DS に留学	
1952		『イメージとシンボル』刊行		
1953	カッシーラー『シンボル形式の哲学』1 巻英訳出版 →「形態学」としての文化形式の研究(2 巻では「現象学」に)			
1954		『ヨーガ』刊行		
1955		IAHR ローマ大会参加	ワッハ死去 井門富二夫(1924-2016) DS に留学 59 年まで	
1956	ハーバーフォードカレッジ入学 マーティン・フォスの影響で哲学専攻 ヘーゲル、フッサール、ハイデガー、サルトル + カント・新カント派 クエーカーを通じて西洋(神秘主義)宗教伝統に関心	シカゴに到着 ハスケル講演「イニシエーションの諸類型」(→『生と再生』) 『鍛冶師と錬金術師』 シカゴ大学客員教授		
1957	古代ギリシャ哲学、神話と哲学 ヘシオドスを哲学者とみなす「神話の現象学」を構想	シカゴ大学教授に就任 『聖と俗』 『神話と夢想と秘儀』	ロング、シカゴ大学で教え始める	
1958	神話—儀礼学派関係を読む	IAHR 東京大会参加	ワッハ『宗教の比較研究』刊行	

	コロンビア大の集中講義で文化人類学を学ぶ ジェイコブ・ニューズナーに出会う p.34(n.15)読書一覧 (エリアーデ含)	仙台を訪問シイタコの口寄せを体験 『生と再生』		
1959	哲学的現象学・宗教現象学はどちらも無人間的、非歴史的、かつ合理的ではないという問題があると気づく。その問題にはマルクスでもカントでも対処できず。	『宗教学入門 <i>The History of Religions: Essays in Methodology</i> 』(キタガワと共編)		
1960	卒論「神話の一般現象学序説」 哲学+人類学理論(レヴィ=ストロースの初期の著作含む)+大陸の宗教史研究 イエール大神学部に進学。新約学の大学院に入るためB.D.からとり直す	IAHR マールブルク大会参加	シカゴ学派「神話時代」	60s 前半 ハーバード・サイケデリック・クラブ
1961	理論を現象学から構造主義(レヴィ)に切り替え、ヘシオドス研究 “プロテスタント部族”を参与観察しつつ出自であるユダヤ教伝統も学習 大学ではプロテスタント神学校のカリキュラムが支配的で、宗教学の一般教養的教育が欠けている問題に気づく	キタガワ、ロングと共に雑誌 <i>History of Religions</i> 創刊 “History of Religions and a New Humanism”	この頃ペナー学生	60s 前半 Society for Religion in Higher Education 設立 (宗教学の学部教育のFD、人文学における宗教学の重要性を唱道)
1962	神学部に Department of Religion が新設され、その博士課程に移る 新約学+HR のアプローチを着想 イエールの特殊主義⇔統計的比較への関心 →「宗教」への関心	『悪魔と両性具有』	ロング博士号取得	W・C・スミス (マギル大学)『宗教の意味と終極』
1963	比較の問題系へ関心 言語・歴史+哲学 →「塵も積もれば」論文  フレイザー『金枝篇』を比較の実験場と見立てる博論構想	『神話と現実』		Abington v. Schempp 裁判により公立大学に宗教学科増加
1964	キタガワに初めて会う(会議で)			米国宗教学会(AAR)設立 (前身は National Association of Biblical Instructors) W・C・スミスがハーバード大学に移る
1965	ダートマスカレッジの教員にニューズナー、ハンス・ペナーと交流 ペナーとはHR について議論 ロングと知り合う (Society for Religion in Higher Education で) エリアーデに会おうとする		HR の学生、アジア志向に堀一郎、ハスケル講演を行う	
1966	UC サンタバーバラ校 Department of Religious Studies 助教授に就任 (R. Michaelsen, W. Capps, R. Comstock)			

1967	類型論・構造主義と、歴史・人間学を両立させる実験として、「世界宗教」「宗教学入門」の授業	宗教史資料集 <i>From Primitives to Zen</i>	荒木美智雄(1938-2008)DS に留学 75年まで	
1968	サンタバーバラにきたエリアーデと初めて会い、HR や文学について語り合う  シカゴ大学助教授に就任 学部 (History and Philosophy of Religion プログラム)・DS (神学大学院の HR) の両方に所属 ロング  UCSB での「宗教学入門」授業は学部・DS で 1970s 半ばまで続ける (→1974 講演→Imagining Religion へ)	2月サンタバーバラに客員教授として赴く	HR が地域研究に似てきたとキタガワが嘆く	
1969	金枝篤についての博士論文で博士号を取得	『宗教の歴史と意味』		
1970		IAHR スtockホルム大会参加 『ザルモクシスからジンギスカンへ』		ヨーロッパではワッハへの 関心続く
1971	学部のプログラムが廃止になり、DS 専属に。 HR の主任教授に。		永見勇 DS (宗教と社会) に留学 76 年まで	
1972		『オーストラリアの宗教』		
1973	学部に Religion and the Humanities プログラムを設置し、その所属に 副学部長を経て学部長に (82 まで 教育論の業績増える)	『エリアーデ日記』	学生に対するスミスの影響力強くなる 学生は宗教学よりも人類学・社会学理論に関心	Religious studies という語の 一般化
1974	講演 (→Imagining Religion へ)		ロング、ノースカロライナ大学チャ ペルヒル校の教授に	
1975	Religion and the Humanities の主任に			
1976		『オカルティズム・魔術・文化流行』 『世界宗教史 I』	植島啓司 DS に留学	
1977	教育方針の相違により DS を辞め、学部専属に			
1978	<i>Map Is not Territory</i>	『世界宗教史 II』『迷宮の試練』	ドニガー、シカゴ大学で教え始める 小田淑子 DS に留学	
1979		<i>Encyclopedia of Religion</i> の編集主幹に		
1980	エリアーデに DS とは正式な関係を持ちたくないという手紙を送る	『エリアーデ回想』		
1981				
1982	<i>Imagining Religion</i> 人文学部教授に (特定学科を離れる)			
1983		『世界宗教史 III』		
1984			キタガワ退職	
1985		オフィスが火事に遭う		北米宗教学会 (NAASR) 設立 トーマス・ローソン、ルーサー・マーティン、ドナルド・

				ウィーブ
1986		79歳で死去	クリアーヌ、客員教授に サリヴァン、シカゴ大学で教え始める	
1987	<i>To Take Place</i>	<i>Encyclopedia of Religion</i>		
1988				
1989			木村武史 DS に留学	
1990	<i>Drudgery Divine</i>		サリヴァン、ハーバード大に移る	
1991			クリアーヌ、大学構内で殺害される 藤原聖子 DS に留学 94年まで 宮本要太郎 DS に留学	
1992			キタガワ死去	
1995			棚次正和 DS にフェローとして滞在 96年まで	
1996	NAASR 会長に			
2000	アメリカ芸術科学アカデミー会員に			
2004	<i>Relating Religion</i>			
2006			ワッハ没後五十周年、エリアーデ生 誕百周年大会	
2008	SBL 会長に			
2013	<i>On Teaching Religion</i> 退職 IAHR 終身名誉会員に			
2017	79歳で死去			
2020			ロング死去	